

職員オススメ本 12月



「幽霊絵師火狂 筆のみが知る」

近藤 史恵／著 角川書店

十四歳の真阿（まあ）は、大阪で料理屋を営む「しの田」のひとり娘。十二歳の時、胸を病んでいると言われ、一日のほとんどを自室で横になって過ごし、裁縫を教わったり絵草紙や赤本を読む毎日を二年繰り返していた。そんなある日、東京で有名な絵師火狂という男が二階に居候することとなる。

その絵師のことが気になった真阿は「絵を見せてほしい」と火狂にお願いするのであった。

時代は明治初期。「怖がらせるのが仕事」という幽霊絵師火狂と火狂の絵に魅了された真阿の成長を描く時代ミステリ小説です。



「探偵と家族」 森 晶磨／著 早川書房

高円寺あづま通り商店街にオフィスを構える“銀田探偵事務所”。父の銀田龍一が探偵業を営んでいたが、5年前の“神崎透くん失踪事件”に非現実的な結論を出し大炎上してから一切探偵の仕事をしなくなってしまった。現在は父に代わり母の獅乃がペット専門の探偵となり、なんとか生計を立てている。そんな銀田家と距離を置き、新しい生活をスタートさせたいと考えている娘の凧咲の元に、依然行方不明のままの神崎透の同級生・川上恵奈が事件の再調査を依頼しに来て…。

事件解決を通して、銀田家族が失ってしまった絆を取り戻していく家族小説です。



「納豆がもっと好きになる #感動の納豆レシピ」

夏見 奈央子／著 パイインターナショナル

納豆料理研究家であり、納豆創作料理専門店『夏豆』を営む著者。子どもの頃、大の苦手だった納豆を母親から体が良いからと一粒の納豆をごはんに乗せられ食べ始めていたある日、もっと欲しいと納豆の魅力にハマっていったそうです。

本書では料理に旨みをプラスしてくれる健康食材納豆を使ったレシピが、ご飯ものからおかず、おつまみ、デザートまで網羅されています。納豆料理に抵抗のある方もいらっしやるとは思いますが、いろんな方に美味しく楽しんでいただけたらと思います。